

エンジニアパーク

# Engineer Ring Park

大学進学によって大阪から札幌にやってきたのが1990年4月。大学&大学院と札幌で暮らす中で、専門の雪氷関連の仕事に札幌で就くことができると思うようになり、先輩がいるなどのご縁もあって、北海道開発コンサルタント(株)(現(株)ドーコン)に就職することができました。

雪氷以外の知識はほとんどなかったこともあり、雪害や防雪の仕事から業務に携わるようになりました。

その後、除雪計画や交通安全、防災の業務にも携わり、経験や知識を積み上げてもらいました。

技術士の当初の取得理由は、技術士資格を取得できれば、土木出身ではない自分でも技術者としてやっていけるのではということでした。ただ、試験勉強を始めると、国による色々な施策の背景や内容、それらと自分の仕事との関係を改めて学びなおすいい機会となりました。

会社の先輩方からのご指導もあり、2004年3月に合格することができました。いざ資格を取ると、そこはあくまでスタートで、資格に恥じない実力をつけなければと思い直したことを覚えています。

資格取得後には、道外の研究機関も含めて3回出向することとなりました。年齢等もそうですが、技術士資格を取得していたことも出向に影響があったのだらうと思います。出向では、社内とは異なる経験や出会い、学びもあり、改めて色々勉強したことも含めてとてもいい経験でした。2度目と3度目の出向の際はちょっと驚きましたが、技術士の資格取得が人生を変える面もあったのだと思います。

勤務先など就職時とは変わったことも多々ありますが、先輩たちへの感謝と資格取得の際の思いを忘れることなく、これから技術の研鑽に励みながら、社会に貢献したいと思っています。

## 天見 正和 (あまみ まさかず)

- 建設部門(道路)
- 総合技術監理部門

### 勤務先

一般社団法人北海道開発技術センター  
調査研究部



→次号は、山 真典さん(応用理学部門)

私は旭川で生まれ育ち、大学の4年間を札幌で過ごした後、Uターンで地元旭川に戻り、今年で33年目を迎えます。大学の頃は将来の夢や目標など特に無く、たまたま入れた大学が土木工学科というだけで、当然、就職意識も低く、中身もよくわからないまま、国策というネームバリューだけで現在の会社に入社しました。私の志とは逆に会社側の期待度は高かったみたいで、当時、社内

では未開拓分野であった設計部門のパイオニアを育てるために採用したそうなのですが、設計業務が急に増える訳もなく、仕事と言えば全道各地の測量現場を駆け回る毎日で、殆ど休みも無く、今では考えられない残業の日々でした。石の上にも3年、突然、橋梁設計業務が舞い込み、私は大した設計の経験を積んでいないのに何を血迷ったのか業務の担当を志願しました。当然、社内では業務経験もなく、指導してくれる人も皆無で、寝る暇も惜しんで橋梁設計を勉強し、その甲斐あって、何とか業務を無事遂行することができました。この成功体験が大きな自信となり、その後の技術者人生の礎となる貴重な経験でした。そして、苦労して設計した橋梁の完成現場を見た瞬間、これは「天職」だと確信しました。

設計業務にやり甲斐を感じながら技術力に磨きをかけ、経験を積み重ねたある日、社内在籍技術士がいないという理由でクライアントに不信感を持たれ、これを機に「技術士」取得を本格的に目指しますが、道のりは長く30代後半で一念発起してから幾度か挫折した時期もあり、受験回数は5回目まで平成28年度の技術士試験に合格するまでに約15年を費やしました。今後は技術士として中身(技術力)でクライアントに信頼して頂けるよう、初心を忘れず自己研鑽に励んでいきたいと思っています。

## 岡田 弘道 (おかだ ひろみち)

- 建設部門(道路)

### 勤務先

株式会社 国策測量設計



→次号は、老 敦史さん(建設部門)